



三和鋼産

高橋 圭太

2024年7月にグループに加入した株式会社三和鋼産。当時、その会社を牽引してきた一人が、高橋圭太だ。これまでの業務の範囲にとどまらず、さくらグループに加わったことで新たな挑戦を続けている。加入以前は大きな不安を抱えつつも、それが徐々に解消していった。雪解けのきつかけをつくった大きな存在とは。

グループ加入への不安

グループに入る前の三和鋼産は、「新栄」として鍛冶工事を得意としてきた。副社長だった高橋は代表の佐藤を支え、ともに会社の成長を喜び合ってきた関係である。統合する以前から、さくらグループのことは知っていた。佐藤はさくら株式会社代表取締役である高橋とは面識があり、佐藤を通じてさくらグループや、代表の高橋について話を聞く機会もあった。

たからだ。それでも、初めて「グループに加入したい」と佐藤に打ち明けられたときは、喜びや期待よりも、戸惑いや不安の方が大きかった。

これまでは三和鋼産にとって、親となる存在が「佐藤」だった。それが急に変わるのだ。新しい家族ができるような、そわそわとした感覚。うまく馴染めるのだろうかという不安は大きかった。きつと、売り上げについても大きな期待をされるのではないかと。それにしつかりと応えられるのかと自分に問えば、胸を張ってうなずけるほどの自信はない。積み上げてきた会社としての文化がガラリと変わることに、納得できずにいたのだ。

社長の人柄と社員の温かさに引かれてく

正直、このまま不安を抱えて新し

に行くときもあり、お互い支え合うことができている。やりがいあふれる環境の中で、高橋は日々挑戦を続けているのだ。

強い不安を瞬時に払拭するほど素晴らしい社長との出会いを経て、さくらのために貢献したいという強い思いが、高橋の中に湧き上がってきた。そして日ごろの業務を通して、さくらの働きやすさをこの後一層実感していくのだった。
(後編に続く)



▲一番手前が高橋

い変化を受け入れるのならば、いっそのこと退職しようかとさえ思った。それでも、佐藤が決めた決断を信じて前に進もうと決意する。その日から数か月後、高橋の中に不安は一切なくなっていた。そのきっかけは、さくらの代表、高橋の人となりを知ることができたのが大きかった。いつでもプラス思考で皆を引っ張っていく社長の姿は頼もしく、自然と尊敬するようになっていく。三和鋼産のグループLINEに毎日必ず届

く社長のメッセージは、ときには、迷ったときの道しるべになるような言葉も教えてくれ、新たな気づきも与えてくれた。読書の大切さも、社長のLINEを見てあらためて感じ、それまではあまり読書に馴染みがなかったが、今では時間を見つけて本を開くようにしている。

いつの間にか、当初感じていた心配はすべて解消され、さくらグループの一員になれたことに、喜びを感じるようになっていったのだ。

第一印象が一転。会話をして気づいた社長の熱意

さくらの社長と初めて出会ったときのことは、今でも強烈に記憶に焼き付いている。堂々とした雰囲気には緊張してしまい、「怖い人なのではないか」と一気に緊張したものだ。もともとある不安がさらにその印象を強化したのかもしれない。

仲間同士助け合う文化を実感

しかし、その第一印象は高橋の間違った先入観から来ていたと、すぐにわかった。話をしてみると気さくで、怖い雰囲気は微塵も感じられない。何より、社員に対する熱い思いが、胸に刺さった。だからこそ「この社長のもとに集うさくらのメンバーも、きつと温かい人ばかりなのだろう」と、安心した。

実際その予測は当たっていた。さくらの社員たちは皆さんが優しく、仕事を教えてくれた。仲間意識が強く、現場同士の助け合いもしっかりできていく。これまで三和鋼産のときに感じていた苦勞も、皆さんと分かち合いながら解決できるようになった。人手不足で現場が回らず頭を悩ませたものだが、今ではグループ内で柔軟に助け合えるため、すぐに解消。自分たちもグループ会社のサポート

企業情報

設立年：2012年4月

年商：11.6億円

※ 2022年3月決算時点

50号記念企画

社内報ヒストリー!

2021年に創刊した社内報が50号を迎えます! その間、さくら株式会社も世界の在り方も大きく変化をしてきました。制作に協力して下さった皆さんに感謝の気持ちを伝えるとともに、これまでの4年間を振り返ります。今後も『さくらだより』にご期待ください!



1号 2021年1月20日発行 さくらだより

創刊号の巻頭インタビューでは高橋社長が登場! これまでの人生についてお話しいただきました。

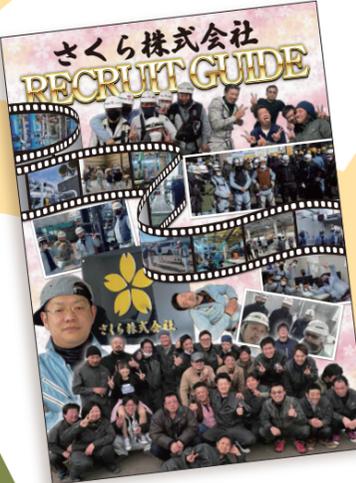
8号 2021年8月20日発行 さくらの〇〇な人!

「さくらの〇〇な人」という企画で、佐藤桂さんと岩井翔一さんに、思い浮かぶ人物について紹介していただきました。



16号 2022年4月20日 創立10周年を迎えて

さくらが創立10周年を迎え、高橋社長からのメッセージを掲載しました。



採用サブパンフレット刊行!
「数字で見るさくら」など、採用強化を目的とした紙面を製作しました!

23号 2022年11月18日 さくらの強みに迫る!

配管工事におけるさくらの強みについて、実際に現場で経験したエピソードや社員の皆さんと関わる中で感じたことを中心に、常務の寺澤寿洋さんに語っていただきました。



32号 2023年8月18日 さくらへようこそ! 新入社員紹介

新入社員紹介ページで「社内報を見て～」の一言があり、社内報が入社の一歩に挙げられるようになりました!



49号 2025年1月20日発行 年頭挨拶

最新号では、高橋社長から2024年の振り返りと2025年へ向けてのビジョンについて語っていただきました。



26号 2023年2月20日 これからのさくら株式会社

さくらのこれからについて、専務の千葉真也さんに組織づくりや課題にフォーカスして、お話をいただきました。



40号 2024年4月19日発行 新生さくらグループ

2023年7月3日に三和銅産設立。社内報の誌面にて、設立理由や今後の展望について高橋社長から説明がありました。

And NEXT……!

激動の2021~2024年を、社内報とともに振り返りましたが、いかがでしたか。さくら株式会社の向かうべき方向性から、社員のクローズアップ記事まで、さまざまな企画をお届けしてまいりました。今後も社員の皆さんへの大切なメッセージを伝えるとともに、『さくらだより』のさらなる発展に向けてお力添えをお願いいたします。

2021年~2024年の世の中の出来事

2021年
東京オリンピック2020の開催
新型コロナウイルスの影響で1年延期された東京オリンピック2020が、無観客で開催。

2021年
ノーベル平和賞に世界保健機関(WHO)
COVID-19対策における功績を称えられ、2020年のノーベル平和賞を受賞した。

2022年
ロシア・ウクライナ戦争の勃発
ロシアがウクライナに軍事侵攻を行い、激しい戦闘が続く。

2022年
エリザベス2世の死去
イギリスのエリザベス女王が在位70年で死去し、チャールズ3世が即位。

2023年
第49回衆議院議員選挙
日本全国で衆議院選挙が公示され、各政党が選挙戦を展開した。

2023年
AI技術の急速な進化
ChatGPTや類似のAIツールの登場により、さまざまな産業での活用が進展。

2024年
能登半島で震度7の地震
建物の倒壊や津波の被害などで死者は470人以上。

2024年
大谷翔平選手MVPを獲得
メジャーリーグベースボールにて大谷選手が3度目のMVPを獲得。